

他科に誇れる
精神科の専門技術

メンタル・ステータス・イグザミネーション

患者の症候をとらえる視点

014 付録：「精神症状」のアセスメントシート

武藤教志 むとう たかし

宝塚市立病院（兵庫県宝塚市）精神看護専門看護師

患者の概要を知るために用いるアセスメントシートは「精神症状」「心理的反応」「セルフケア」「治療」「精神医学的病歴」のMSEの5つの領域に対応したものと、5つの領域を相互に結びつけるためのアセスメントシートがあります。精神科臨床でもっとも大事なのは、患者から精神症状の所見をしっかりと取り出し、患者の症状プロフィールをしっかりと描けること。下記に提示した「精神症状」のアセスメントシートは精神機能の9つのカテゴリー（外観・意識・記憶・認知・感情・意欲・思考・知覚・自我）が示されており、その枠組みに従って、所見を整理していきます。具体的な記入方法については『精神科看護』2月号「患者の症候をとらえる視点メンタル・ステータス・イグザミネーション／014 MSEをどのように身につけるか」を参照してください。

MSE-1 精神症状のアセスメント

患者氏名： _____ (ID: _____) 記載者： _____ 評価日： _____年 _____月 _____日

重症度の目安 (その患者を理解するうえでその症状の重要度の目安)

重：症状により、日常生活に大きな支障をきたしている。

中：症状により、日常生活に明らかな支障が出始めている。

軽：症状はあるが、日常生活にほとんど支障をきたしていない。

無：精神症状も精神機能の低下もみられない。

1. 外観 重症度 []

2. 意識 重症度 []

3. 記憶 重症度 []

4. 認知 重症度 []

5. 感情 重症度 []



MSE-1 精神症状のアセスメント	
6. 意欲 重症度〔 〕	
7. 思考 重症度〔 〕	
8. 知覚 重症度〔 〕	
9. 自我 重症度〔 〕	
サマリー	

※このアセスメントシートの複製・翻訳・上映・譲渡・公衆送信（データベースへの取込および送信可能化権を含む）に関する許諾権は、(株)精神看護出版が保有しています。